



原安三郎  
コレクション

# 小原古郵展

2018. 9. 9 [日] ▶ 11. 4 [日]

前期・後期で全点入れ替え [前期/2018年9月9日(日)~10月8日(月・祝)]  
(前期のチケット提示で後期の観覧料200円引き) [後期/2018年10月11日(木)~11月4日(日)]

休館日：月曜日(ただし9月10日、17日、24日、10月8日は開館)、  
9月18日(火)、25日(火)、10月9日(火)、10日(水)

開館時間：10時~18時(入館は閉館の30分前まで)

観覧料：一般700円(600円)、大学生500円(400円) ※( )内は20名以上の団体料金  
※高校生以下、市内在住65歳以上の方、市内在住の障害者およびその介護者は無料

主催：公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団  
協賛：日本化薬株式会社 企画協力：中外産業株式会社

茅ヶ崎市美術館  
CHIGASAKI CITY MUSEUM OF ART





1



2



3



4

## 開館20周年記念 第2弾

# 小原古郵『木版花鳥画』の魅力

開館20周年を迎えた茅ヶ崎市美術館では「版の美」と称して年間の展覧会を通じて版画の魅力をお伝えしています。シリーズ2回目となる本展は、日本化業株式会社を率いて財界に圧倒的な存在感を示した実業家・原安三郎旧蔵の小原古郵作品の展覧会です。葛飾北斎や歌川広重などの熱心なコレクターとして知られる原が小原古郵の作品を収集していたことはほとんど知られておらず、展覧会として紹介されるのは今回が初めてです。また、茅ヶ崎市美術館が位置する高砂緑地は、かつて原が所有していた瀟洒な南欧風の別荘「松嶺荘」の跡地でもあります。

小原古郵こと小原又雄は1877（明治10）年、金沢に生まれました。花鳥画を得意とする日本画家・鈴木華軒に師事。古郵の名前で絵画共進会に日本画を出し、たびたび褒状を得ました。明治末期には版元・大黒屋から花鳥画を刊行、海外への輸出を念頭に置いた版下絵の制作で高い人気を獲得しました。昭和期に入ると渡邊版画店から祥邨の名で、また酒井好古堂と川口商会の合版では豊邨の名前で制作を続け、特に海外で好評を博しました。著名なアメリカ人コレクターであるロバート・O・ムラーのコレクションや、2001年にアムステルダム国立美術館で開催された大規模な回顧展の中心になったジャン・ペレのコレクションがよく知られています。展覧会に先立つ調査では、原安三郎のコレクションは質量ともにそれらのコレクションに匹敵、あるいは凌駕していることが判明しました。

今回の展覧会は国内初の原安三郎コレクションによる小原古郵展であるとともに、古郵の展覧会としても国内初の規模と言っても過言ではありません。前・後期に展示する合計240点の古郵作品に触れることで、日本的な花鳥風月の情緒に西洋画風の写実性を伴った、古郵作品の魅力余すところなく鑑賞することが出来るでしょう。20世紀前半を代表する花鳥画家の世界を知る絶好の機会です。

- 1.《芥子に金糸雀》 2.《葉の花に揚羽蝶》 3.《雪の柳に鳥》 4.《花鳥踊に翡翠》  
すべて制作年不詳 紙、木版（多色）

### 小原古郵展 関連イベント

申込制のイベントは9月9日（日）10時より、美術館受付またはお電話でお申し込みください（印刷部限内）。詳しくはホームページをご覧ください。

#### ギャラリートーク

9月10日（月）、10月8日（月・祝）、11月3日（土・祝）  
いずれも14:00～15:00

#### ■ 小原古郵と原安三郎

内容：今回初公開を果たした原コレクションの古郵作品。今も海外で高い人気を得ている画家小原古郵と優れた美術品蒐集家としての原安三郎について調査に当たった二人のキュレーターが迫ります。

日時：9月16日（日）14:00～15:30

会場：茅ヶ崎市美術館エントランスホール

講師：小池満紀子（中外産業株式会社美術担当/国際浮世絵学会理事）、月本寿彦（展覧会担当学芸員）

料金：無料  
座席数：約50席

#### ■ 松嶺荘を語る

内容：原安三郎の別荘「松嶺荘」にまつわるエピソードを茅ヶ崎市美術館設計者夫妻と美術館館長が語り合います。

日時：9月23日（日・祝）14:00～15:30

会場：茅ヶ崎市美術館エントランスホール

講師：山口洋（株式会社洋建築企画）、山口佳子（株式会社洋建築企画）、小川稔（茅ヶ崎市美術館館長）

料金：無料  
座席数：約50席

#### ■ 家族鑑賞会「ようこそ古郵 あつまれ！みるっご家族鑑賞会」

内容：レクチャーを受けながら小さなお子さまと一緒に家族で作品に親しむことができる毎回大好評の鑑賞会です。

日時：①9月29日（土）14:00～15:00

②10月2日（火）10:30～11:30

会場：美術館展示室、アトリエ

講師：NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会

料金：無料（保護者は観覧券が必要です）

定員：各回30名（申込制/先着順）

対象：①おもに園児・小学生とその保護者

②0歳から3歳児とその保護者

#### ■ カフェトーク「古郵のそこんとこ気になるります」

内容：美術館カフェ「ルシュマン」で小原古郵の魅力を学芸員とともに語り合います。

日時：10月13日（土）15:00～16:00

会場：美術館カフェ「ルシュマン」

講師：月本寿彦（展覧会担当学芸員）

料金：500円（ワンドリンクとお菓子付き）

定員：20名（申込制/先着順）

対象：どなたでも（展覧会を観覧したあとが望ましい）

#### ■ ミニコンサート「なつかしい日本のうた」

内容：茅ヶ崎ゆかりの音楽家が、小原古郵が活躍した時代をはじめとする懐かしい日本の歌曲を紹介します。

日時：10月14日（日）14:00～15:00

会場：茅ヶ崎市美術館エントランスホール

出演：竹村 淳（バリトン）、青島陽子（ピアノ）

料金：無料 座席数：約50席

#### ■ 観月句会&茶会「花鳥風月 古郵の世界に遊ぶ」

内容：美術館で作品を鑑賞した後、しばし風流韻争のひとときを過ごしましょう。句作を楽しんだあとは、お茶を一服いただきながら日本庭園から眺める十三夜に思いを馳せてみませんか。

日時：10月21日（日）17:00～20:00

会場：アトリエ、松籟庵（高砂緑地内）

講師：金子宗貞（裏千家助教授）

料金：1,000円（展覧会観覧料、お抹茶・お菓子代含む）

定員：20名（申込制/先着順）

対象：小学生以上（小学生は保護者同伴）



茅ヶ崎市美術館  
CHIGASAKI CITY MUSEUM OF ART

〒253-0053 茅ヶ崎市東海岸北1-4-45  
TEL0467-88-1177 FAX0467-88-1201  
http://www.chigasaki-museum.jp

交通アクセス

市立図書館隣り 高砂緑地内  
○ JR 茅ヶ崎駅南口より徒歩8分  
○ 同駅南口よりコミュニティバス「えぼし号」②図書館前下車  
○ 駐車場は収容台数が少ないため、公共の交通機関等でご来館  
ください。満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。